

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

児童発達支援センターにこここ園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		各スペースにて、利用する人数や活動内容などを都度調整しながらスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		人員配置基準以上の職員を配置している。
	③	生活空間は、利用児にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		活動内容や目的に応じて構造化を行うなど配慮は行っている。 小さな段差がある点は今後必要に応じて対応を検討していく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。	○		定期的な清掃など過ごしやすい環境になるような配慮は行っているが、汚れやすい場所もある。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎朝夕、職員全体でのミーティングを行っている。また、クラス間での活動内容、お子さんの様子の振り返り等、職員間での情報共有に心掛けている。また、業務を効率よく遂行するための提案なども話合われている。
	⑥	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者様からの思いや要望などにはできるだけ添えるようにアンケート結果などは職員間で共有・検討を行っている。
	⑦	自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページに公開しており、園だよりなどにその旨も記載している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	新型コロナウイルスが五類扱いになって以降の状況は把握できていない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		自部署のみの研修に限らず、法人内の児童部門での研修を定期的に開催しており、研修を受けるだけでなく、内容をまとめて発表する機会も設けている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		発達検査や行動観察・保護者・関係者などから情報を収集し、主訴と照らし合わせて個別支援計画を作成している。
	⑪	子どもの状態を把握するため、また支援に対しての進捗を把握するために、統一されたアセスメントツールを使用しているか	○		新版K式発達検査・PEP-Ⅲなどフォーマルなアセスメントツールを用いている
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	○		家族支援、地域支援の必要性についても支援計画書内に設定している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		個別支援計画の内容を念頭に置き、立案・介入を行っている。

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		クラス及びグループで立案し、活動内容を共有しながら進めている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		日々の療育内での変化を捉えながら活動を変化させていっている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		必要に応じて組み合わせて行っている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		できる限り行っている。状況によってはスケジュールを基に口頭やメモでの打ち合わせになることもある。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		次の療育に活かされるように気づいた点は振り返りを行い、クラス内で共有している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日の個別記録の中に、行動観察だけでなく必要に応じて分析や次の調整、改善も記入しながら見返した時に有効的に活用できるように心掛けている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		最低年2回のモニタリングを実施し、支援計画内容を更新している。
関係機関や保護者との連携	㉑	相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		ケースによってはミーティング前に実施することで、全職員が集まることができ、管理者、児発管、クラス担当者の参加が可能している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		見学时だけでなく、必要に応じて連携を図るようにしている。
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		今年度、関係機関連携サービス等は実施できていない。引き継ぎシートやサポートシートが中心だが、必要に応じて両機関での支援の様子を直接見に行き情報共有を図っている。
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		連絡協議会への参加や、お子さんの併用先の児童発達支援等の見学を行い、連携を図っている。
	㉖	子どもの併用利用する保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解をはかっているか	○		家庭連携加算サービスの実施、当事業所に支援の様子を見に来て頂き等、担当者同士での情報共有を図っている。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		今年度はコロナ禍の影響で中止だったが、地域が開催する清掃活動、避難訓練に参加している。地域住人を招待するような事業所行事の開催が出来ていないが、今後グループ内の利用者を招待するような交流から地域に開かれた事業所運営を考えている。

	㊸	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	法人内では参加しているかもしれないが、把握できていない。機会があれば参加したい。
	㊹	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		その日の活動内容の報告だけではなく、お子さんの成長や悩みなどを情報交換・共有に努めている。
	㊺	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		それぞれの保護者様に合わせた支援を行うように努めている。
保護者への説明責任等	㊻	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		見学時や契約時に書面を用いて説明している。また規定変更が発生した場合は書面を用いた説明を行い、同意を得ている。
	㊼	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		保護者に書面を用いた説明を行い、同意を得ている。
	㊽	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		登降園時に最低週1回は保護者からの相談内容への対応機会を設け継続的な支援ができるよう努めている。また事業所内相談支援加算サービスを実施し、具体的かつ必要な助言をしている。
	㊾	保護者会の活動を支援したり、開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会を開催し、保護者様同士がつながりを持つ機会を設定している。
	㊿	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		連絡用紙の設置をしているが、活用が不十分である。保護者に利用いただいても、返事や助言等が遅れている場合がある。引き続き、日頃から職員に声をかけやすい雰囲気作りを意識していき相談しやすい関係作りに努めていく。
	㊽	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月「にこにこだより」を献立表と共に配布している。また季節の行事等については適宜配布、説明を行っている。
	㊿	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		できる限りの注意は払うようにしている。
	㊽	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		登降園時に最低週1回は保護者からの相談内容への対応機会を設け、継続的な支援ができるよう努めている。また事業所内相談支援加算サービスを実施し、具体的かつ必要な助言をしている。
非常時等の対応	㊽	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		全職員にマニュアルについては周知され、毎月最低1回は計画に基づき避難訓練を実施している。保護者へ避難場所等は口頭及び掲示物にて周知しているが細かなマニュアルについては常時閲覧できるよう玄関に設置している。
	㊾	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		様々な状況を想定した避難訓練を段階的に実施し、実施後の振り返りも行っている。
	㊿	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		利用開始前の相談支援事業所とのサービス担当者会議や契約時に医療面での配慮の必要性について情報を確認している。途中で服薬等が必要になった場合も保護者に聴き取り、全体で情報共有している。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	アレルギーの状況によって医師の指示書やアレルギー検査結果を頂くようにしている。また、未食に関してもご自宅で食べて頂いてから提供するようにしているが、未食物の把握ができていないものがあり、提供してしまう事故が発生してしまった。未食物の把握漏れがないよう契約時の書面を変更した。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	職員ミーティングでその日のヒヤリ、事故について報告し事故及び再発防止に努めている。また、改善点については即時対応するよう努めている。
④④	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	法人内での研修や、事業所内での勉強会を実施している。また日々の振り返りの中で対応が適切だったか意識して話し合っている。世論ニュース等で起きた虐待等について考える時間を設けている。
④⑤	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	身体拘束を行う場合の基準を法人内でもうけ、また、保護者には契約時に身体拘束及び虐待についての説明を行っている。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。